

会 議 録

1 会議名	第 1 回 南砺市図書館協議会
2 議題	①南砺市立図書館の概要について ②運営状況について ③富山県内公立図書館の状況について ④平成 27 年度南砺市立図書館の取組み方針について ⑤図書館の運営形態の検討について
3 開催日時	平成 27 年 6 月 25 日（木）午前 11 時から正午
4 開催場所	南砺市役所井波庁舎 3 階多目的ホール
5 出席者	南砺市図書館協議会委員 出席 12 名／全 12 名 委 員：脊戸川康子、武田和一、中谷有秀、石黒公一、横山一乃、山田清志、藤田一彦 野原浩昭、高瀬英明、城寶マチエ、山本良江、山下美紀 事務局：教育長、教育部長、生涯学習スポーツ課長、図書館長・副主幹
6 欠席者	なし
7 傍聴者	なし
8 議事内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会 若田図書館長</li> <li>・開会あいさつ 高田教育長</li> <li>・会長、副会長の互選 会長：武田和一、副会長：脊戸川康子</li> <li>・進行 武田会長</li> </ul> <p>①南砺市立図書館の概要について</p> <p>②運営状況について</p> <p>③富山県内公立図書館の状況について</p> <p>④平成 27 年度南砺市立図書館の取組み方針について</p> <p>①～④について事務局から配布資料により説明</p> <p>委 員：本を読む機会が減少し、子供の表現力が落ちていると聞いた事があるが、学校等での状況はどうか。</p> <p>委 員：各委員は、どのように感じているか。</p> <p>委 員：小学校では輪読の際に子供たちが大きな声で発言している。表現力が落ちているとは感じていない。学校内での読書活動も積極的に行っている。</p> <p>委 員：中学校では文科省の指導もあり、思考力・判断力・表現力を養成することに力を入れている。当校は小規模校ということもあるが、全校生徒の前でのショートスピーチを年 2 回実施するなど、表現力を高めるよう努めている。</p> <p>委 員：母親の立場からみると、テレビなどの影響か表現の仕方が昔と違っているとは感じるが、ショートスピーチや文章を書く宿題などにより、子供たちの表現力が落ちてはいないと思う。</p> <p>委 員：幼児期には、子供が話したいときに保護者や先生が話を聞いてあげるという環境づくりが大切で、その中で子供の表現力が高まっていく。また、大人に話したくなるような感動体験を子供たちに与えることも大切だと思って幼児教育に従事している。</p> <p>委 員：幼い時に祖父母から話を聞いたり、家の中のいろんな場所に本を置いておくと良いのではないか。また、大人が読書する姿を子供に見せることが大切だ。</p> <p>委 員：表現力の低下は、核家族化、コンピューター、ゲームの影響もあるように思う。</p>

家族そろって食事を取るなどの週間も、子供の表現力の向上の上で重要ではないか。

委員：福光中部小では、親子で相互に読み聞かせや感想を話すなど「ファミリー読書」を推進している。子供が学校からもらってきたチラシには「学校図書館でも貸し出すが中央図書館も利用しよう」と書いてある。このように家族で読書活動を推進するのは良いことだと思う。

⑤図書館の運営形態の検討について

事務局から配布資料により説明。

委員：指定管理は良い面もあると思うが、受託業者の利益追求が問題となる面もあるので、従来どおり運営は市の管理のもとで、細かい配慮を維持してもらいたい。

委員：この問題は非常に難しい問題であり、図書館だけの問題ではない。南砺市が合併して10年経過したが、8地域のいろんな施設を維持することが重荷になっている。このような状況の中で、どうすればより良い図書館サービスを提供できるのか時間をかけて議論・検討すべきである。

・閉会あいさつ 脊戸川副会長